

## ディプロマ・ポリシー（修得する能力）

情報通信コースでは、次のような力を修得することができる。

- ・ 情報通信工学における研究・技術開発に必要な専門的学力
- ・ 関連分野の専門学力を自ら修得し、実践的問題解決に結びつける力
- ・ 社会との関係の中で専門知識を活用して、新たな課題解決と創造的提案を行う力
- ・ 国際的視野をもって研究・開発の潮流を理解し体系化する能力
- ・ 情報通信工学に関する業務に従事するために必要な能力と学識
- ・ 日本語及び英語によって科学技術情報を論理的に説明・文書化することができ、議論を展開できる力
- ・ 強い倫理観を持って研究開発等に携わる姿勢

## カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディプロマ・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

- A) 情報通信分野の専門基礎の学修  
学士課程で学んだ専門基礎分野を俯瞰し、分野における基盤となる知識を定着させる。
- B) 情報通信分野の発展的専門の学修  
情報通信分野における国際的な視野に立った最先端の知見を体系的に修得する。
- C) リベラルアーツ教育及びキャリア教育  
社会におけるニーズを的確に捉え情報通信分野の研究者としての教養を身に付けるために、人文学・社会科学・融合系科目を学修すると共に、情報通信産業の最新動向を学び産業界等のリーダーに求められる高度な視野や倫理観を身につける。
- D) 異分野の専門的知識の学修  
専門知識の幅を広げるとともに異分野に適応する力を養うため、広く理工学にまたがる横断的かつ学際的知識を獲得する。
- E) 創造的提案力ならびに課題解決力の学修  
個別に設定した修士論文研究テーマに主体的に取り組むことにより、創造的提案力、実践的な課題解決力を身に付ける。また、指導教員による修士論文研究指導を通じて、論理的な議論の展開能力を学修する。
- F) デザイン能力の学修  
2年間にわたるポートフォリオの作成、構想発表会や中間審査を通じて、問題設定、仕様策定、プロジェクト遂行の能力を身に付け、日本語や英語を用いた対話力を学修する。

## アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

情報通信系では、次のような人材を求めます。

- ・情報通信工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- ・情報通信工学を主とする工学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、表現できる人
- ・豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- ・国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- ・情報通信工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

## アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

情報通信系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、情報通信系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。